

エンゴサク



(東京理科大学植物園 2024.4.2 撮影)

学名 : *Corydalis turtschaninovii* Bess.forma *yanhusuo* Y.H.Chou et C.C.Hsu

科名 : ケシ科

見ごろ : 4月上旬 (花)

産地 : 中国 (浙江省、河北、山東、江蘇など)

性状 : 多年草で高さ 10 - 20 cm で、地下に塊茎がある。春に総状花序を頂生する。紅紫色の花を付け、花冠は管状で先端は唇状に開く。茎は直立し、葉は互生し 3 出複葉で小葉は 5 - 7 裂。裂片は線形ないし長楕円形。

成分 : ベンジルイソキノリンアルカロイド [protopine (主要成分), bulbocapnine, *d*-tetrahydropalmatine, *l*-corydaline, dehydrocorydaline, corybulbine, corydalmine など]

生薬名 : エンゴサク

薬用部位 : 塊茎 (通常、湯通ししたもの)

効能 : 鎮痛、鎮痙、婦人病 (月経不順など)の改善。

薬理 : エキスおよびアルカロイド類に中枢抑制、鎮痛、鎮痙作用。Dehydrocorydaline に胃液分泌抑制作用、抗腫瘍作用、子宮収縮作用がある。

漢方 : 安中散、芍婦調血飲第一加減、牛膝散、折衝飲などに配合される。

豆知識 : 延胡索は玄胡索ともよばれ、『玄』は『黒い』、『胡』は胡の国から来た生薬を示し、例として胡椒や胡麻などがある。

参考文献

改訂第3版 生薬単 伊藤美千穂・北山隆監修 原島広至著 丸善雄松堂

新訂生薬学 改訂第9版 木村孟淳・酒井英二・牧野利明編集 南江堂

最新 薬用植物学 有澤宗久他 廣川書店

2024.6.3 4YM C.K